

(様式3)

事業所名 萩・曲尾グループホーム

## 目標達成計画

作成日: 令和 5年 8月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	感染症の影響で書面配布での開催となってしまっている。自治会の役員様も変わって、会の開催意義や目的、地域の方たちとの関りが希薄になってしまっている。	対面での運営推進会議の開催。 地域の資産としてどのようなサービスを提供しているか、どんなことに取り組んでいるかを明確化し地域の方たちに理解されるサービスを目指す。	当施設に足を運んでいただいて、まずは認知症対応型施設の目指すもの・運営推進会議とはどういったものなのかを知っていただく。 地域の抱える問題点の中で私たちが助力できるものを伺う。	6ヶ月
2	34	非常時の備品や水・食料等の備蓄ができていない。また、有事の際の連絡網や指示系統が職員に周知されていない。	有事の際に全ての職員が、慌てることなく的確な災害対応をし、ご利用者様の安全を守ることができる。	災害時の必要備品をリストアップし、不足しているものは早期購入し災害に備える。 職員研修会の中で、災害時の対応について全職員がしっかりと学び、個々が自身の役割をしっかりと把握して行動できるようにする。	2ヶ月
3	27	記録の方法に個人差があり、また日々の記録から問題点を見つけ出しそれを共有し解決するチームワークが不足している。	日々の記録が漠然としたものにならないよう、要所をとらえた記録ができるようになる。 そのご利用者様の現在抱える問題点をチームで共有でき、生活の中での問題点・改善点に気付く事が出来る。	記録についての社内研修の機会を設け、全員が統一した形式の記録をできるようにする。 各居室担当職員が受け持ちのご利用者様のモニタリングを繰り返し行うことで、記録からの問題点の明確化ができるようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月